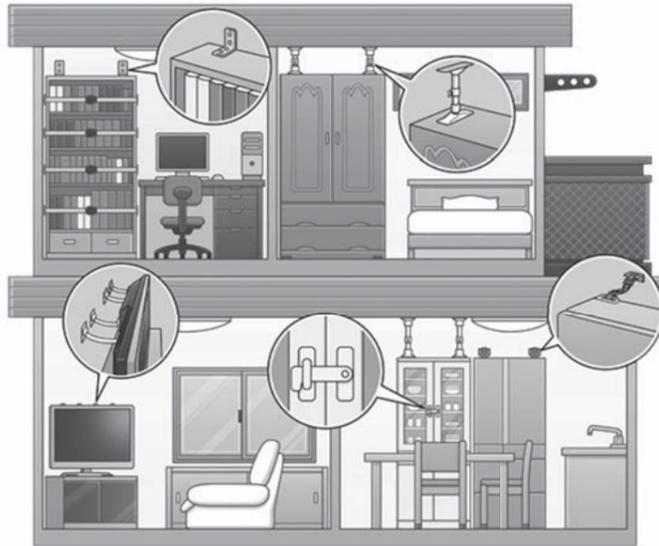


家具の置き方を工夫しましょう

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などでは、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしました。大地震が発生したときには「家具は倒れるもの」と考えて、転倒防止対策を講じておく必要があります。

- ◆家具が転倒しないよう、家具は壁に固定しましょう。
- ◆寝室や子ども部屋には、できるだけ家具を置かないようにしましょう。置く場合も、なるべく背の低い家具にするとともに、倒れたときに出入り口をふさいだりしないよう、家具の向きや配置を工夫しましょう。
- ◆手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう。



備えのススメ

日頃の備えが
自分の身を
守ります

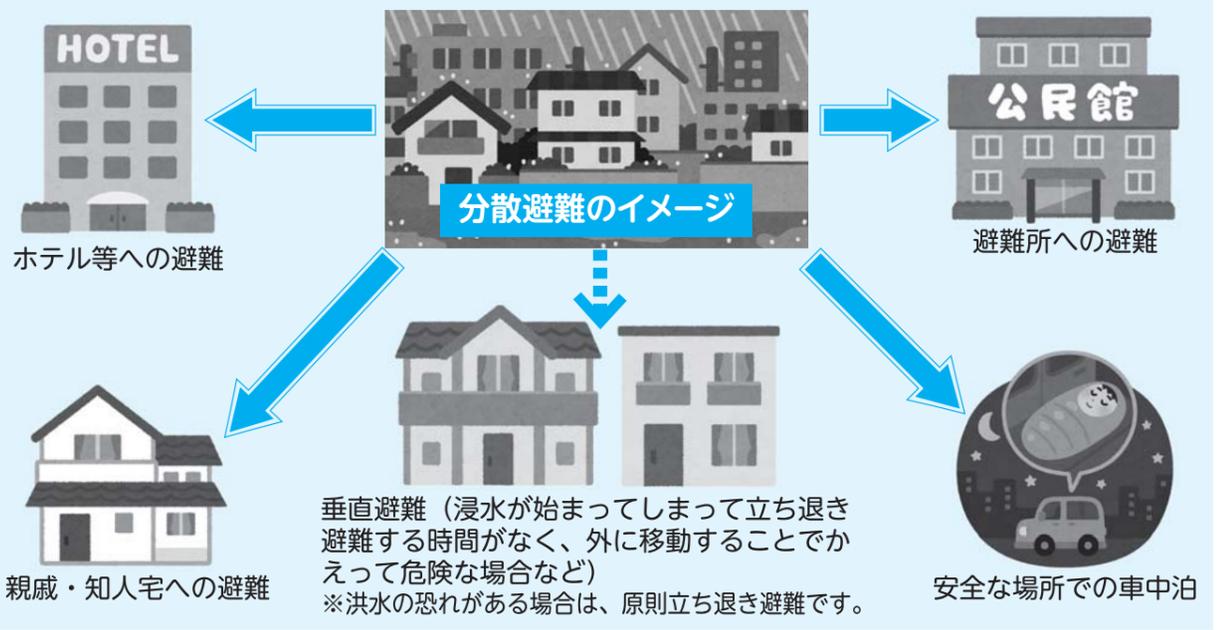
災害に対するご家庭での備え



コロナ禍の今だから…

分散避難を心がけましょう

避難所に多くの方が密集すると、新型コロナウイルス感染症が拡大するリスクがあります。避難所への避難以外にも、親戚・知人宅や車中泊など様々な避難先に分散して避難することが大切です。



←次のページでは避難する際の非常時持出品や、非常時備蓄品についてまとめています。

お問い合わせは ■総務課 総務グループ ☎35-2111(内線218)

防災マップを確認しましょう

町では、「大石田町防災マップ」を全戸に配布しています。災害はいつどこで発生するか予測できません。ただちに避難をするために、各家庭で危険箇所や避難場所を確認しましょう。また、いざというときに備え、非常持出品を準備しておくことも重要です。この機会に防災マップを確認して、家庭での備えを万全にしましょう。



↑防災マップをしっかりと確認しましょう。

災害発生の際は テレビなどで情報収集に努めましょう

災害対策で忘れてはならないのが情報収集の準備です。被災直後はもちろん、避難生活を送るときも情報が大切です。いざというときに正しい情報を手に入れるためにも、日頃から防災に関する情報をチェックしたり、テレビやラジオ、インターネットなど災害時の情報入手方法を確認しておく習慣を身につけておきましょう。